

スポ少白鷹

2015.3
第14号

はじめに

目標を持ち元気よく！

白鷹町スポーツ少年団

本部長 原田 榮藏



スポーツ少年団活動において、寄せたいと思っている皆様からの日々の温かいご支援に感謝申し上げます。

お陰様で、本町のスポーツ少年団は県下一の加入率を誇ります。それだけ多くの子どもたちが大きな期待を込めて加入し活動しているといえます。フェニックスJrスポーツ少年団のソフトボール東北大会への出場をはじめ、多くの団が地区大会や県大会等で活躍しています。また、剣道スポーツ少年団のように、難関の日独スポーツ交流派遣をめざし日々頑張っている団もあります。

今後、団員が目標を持ち、元気よく活動に取り組んでいけるよう温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

◇指導者からのメッセージ◇

「水の仲間づくり」をめざして

白鷹東水泳スポーツ少年団

小形 峰樹



本町の水泳文化はスポーツ少年団活動等による地域密着型で発展を続けている。小学校での水泳スポーツ少年団活動に始まり、その出身者が指導者として大会等運営者となり脈々と繋いできた。地域が支える水泳には、競技力に関して劣る部分はあるが、人間教育については多くの強みがあると自負している。

来年度から、水泳指導などの地域貢献という社会的使命を活動に加え、相互作用で競技力も向上していこうと思っている。中学生とはいえ、水泳競技の立派な「人材」。中学生から小学生、保育園児、さらには大人にも「水の仲間」を増やすことを目的に加える。競技者として、さらには人間として、子どもたちの可能性を広げられるよう手助けができればと思っている。

◇保護者からのメッセージ◇

ミニバスケットボールを通して、思うこと

白鷹西ミニバスケットボール

金田 浩明



息子の理央が、5年生になる頃、「ミニバスケットを習いたい！」と言いました。これまで自分から何かをしたと言ったことが一度もなかったため、親としてなるべく応えてあげたいと思う反面、みんなについていけないのか、続けられるのか不安でした。

大会や練習試合、日々の練習を重ねる中、一度も弱音を吐かない息子の姿に、親の不安も自然と消え、応援してあげたい、一緒に活動したいと心から思えるようになりました。この二年間、続けてこられたのは、コーチの励ましやチームの仲間の支えがあったからだと思います。チーム全体で同じ目標に向かっていくことの大切さをパスケを通して分かりあえた気がします。中学生になってもこの二年間を忘れずに自信を持って進んでほしいです。コーチをはじめ、保護者の方々と同じ想いで息子たちを応援できたことに感謝しています。



若鷹剣道スポーツ少年団

鮎貝小学校男子2名、蚕桑小学校女子5名の計7名で活動しています。週2回の練習では東西中学校・荒砥愛真会との合同練習を行ない、今年度は2つの大会で団体・個人での入賞がありました。

5名が小学校を卒業することから、解団し、4月からは荒砥愛真会にて活動を行なっていくこととなりますが、今後も好成績を残すことができよう、指導者の先生と力を合わせて頑張っていけます。

がんばっています！



白鷹Jrレーシングススポーツ少年団

「熱く、楽しく、元気よく」を大切に、子どもも保護者も一緒になって活動しています。最近では「全国小学生アルペンスキー大会」に出場できる選手もできました。昨日までできなかったことが突然できるようになった子どもたちの成長に、コーチ、保護者みんな驚き、喜び、寒い季節を楽しく充実して過ごしています。これからも熱く、楽しく、元気よく活動していきたいと思えます。